

## 平成29年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成29年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

**安全功労者表彰受賞者 個人32名、団体8団体**

**消防功労者表彰受賞者 消防団員7名、女性（婦人）防火クラブ員4名**

（受賞者名等は、別添の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性（婦人）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- (1) 日 時 7月5日（水）11時00分～11時30分
- (2) 場 所 東京消防庁スクワール麹町 3階錦華の間  
千代田区麹町六丁目6番
- (3) 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長他



消太

連絡先  
消防庁総務課  
篠宮政策評価広報官・矢島係長  
TEL 03(5253)7521内線 42171  
FAX 03(5253)7531

平成 29 年度

安全功勞者総務大臣表彰

消防功勞者総務大臣表彰

平成 29 年 7 月

消 防 庁



## 1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 芝 木 捷 子（北海道・札幌防火管理者協会 副会長） ----- 1
- 川 村 久 史（岩手県・一般財団法人岩手県防災保安協会 理事長）
- 六 角 篤（福島県・郡山地方消防防災協会 理事） ----- 2
- 坂 本 裕 則（栃木県・小山市防火管理協会 副会長）
- 小 俣 浪 子（群馬県・群馬県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 3
- 廣 瀬 三 郎（埼玉県・深谷地区防火安全協会 会長）
- 中 島 和 洋（千葉県・市原市防火安全協会 会長） ----- 4
- 小 泉 定 雄（東京都・小岩防火管理者研究会 会長）
- 尾 世 敏 彦（東京都・上野災害予防協会 会長） ----- 5
- 芦 川 一 男（東京都・足立防火防災協会 会長）
- 鈴 木 良 子（新潟県・新潟県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 6
- 佐 藤 忠 義（岐阜県・海津市危険物安全協会 会長）
- 北 村 美代子（岐阜県・関ヶ原町女性防火クラブ 会長） ----- 7
- 内 田 進（静岡県・熱海市防火協会 顧問）
- 原 裕 子（三重県・つつじが丘北9番町女性防火クラブ 委員長） -- 8
- 三 浦 正 彦（大阪府・柏羽藤火災予防協会 会長）
- 皿 方 邦 夫（大阪府・東淀川防火協力会 会長） ----- 9
- 北 川 忠 嗣（大阪府・東大阪市東防火協力会 会長）
- 納 谷 通 弘（大阪府・中防災協会 会長） ----- 10
- 福 盛 康 友（大阪府・豊中防火安全協会 会長）
- 山 本 浩 二（大阪府・摂津市防火安全協会 会長） ----- 11
- 般 谷 稔 秋（大阪府・守口門真防火協会 理事）
- 森 田 鶴子（兵庫県・尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 12
- 上 野 泉（広島県・尾道防火協会 会長）
- 榊 原 睦 也（広島県・福山市深安防火協会 副会長） ----- 13
- 松 村 幹 旺（山口県・西福寺保育園幼年消防クラブ 会長）

- ひ ぐち とし お樋 口 利 夫 (福岡県・浮羽地区防災協会 会長) ----- 14
- ひら かわ じつ お平 川 實 夫 (福岡県・柳川市防災協会 会長)
- あつ さか よし のり阿津坂 芳 徳 (福岡県・大川市防災協会 会長) ----- 15
- なか にし たつ や中 西 達 也 (福岡県・粕屋南部地域防災協会 副会長)
- たて いし まさ ひろ立 石 昌 博 (福岡県・三井・小郡地区防災協会 顧問) ----- 16
- あや べ てつ とも綾 部 哲 具 (福岡県・筑紫地区防災協会 相談役)

## 2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- こうえきしゃだんほうじんせんだいしぼうさいあんぜんきょうかい公益社団法人仙台市防災安全協会 (宮城県) ----- 17
- いしづかほいくえんようねんしょうぼうくらぶ石塚保育園幼年消防クラブ (神奈川県)
- ぐじょうしじょせいぼうかくらぶ郡上市女性防火クラブ (岐阜県) ----- 18
- あたましぼうかきょうかい熱海市防火協会 (静岡県)
- とよとみふじんぼうかくらぶ豊富婦人防火クラブ (兵庫県) ----- 19
- ちよ おかぼうさいふくしこみゆにてい千代が丘防災福祉コミュニティ (兵庫県)
- かすやほくぶちくぼうさいきょうかい粕屋北部地区防災協会 (福岡県) ----- 20
- けいくびまちふじんぼうかくらぶ毛井首町婦人防火クラブ (長崎県)

## 3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- にし だ てつ ぞう西 田 哲 三 (埼玉県・羽生市消防団 団長) ----- 21
- うだがわ ひろし宇田川 弘 (鳥取県・南部町消防団 団長)
- みぞ て てる あき溝 手 照 明 (岡山県・早島町消防団 団長) ----- 22
- えつ だ あきら悦 田 明 (徳島県・美波町消防団 団長)
- いわ きき まさ かず岩 崎 正 一 (高知県・大川村消防団 団長) ----- 23
- なか もと のり お中 元 則 夫 (高知県・香南市吉川消防団 団長)
- まえ かわ ふさ お前 川 房 雄 (長崎県・佐世保市消防団 副団長) ----- 24

#### 4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性（婦人）防火クラブ員）

- 磯 部 桂 子  
（鳥取県女性防火・防災連絡協議会 副会長） ----- 25
- 川 内 嘉 津 子  
（佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会 会長）
- 富 田 セツコ  
（熊本県女性防火防災クラブ連合会 会長） ----- 26
- 伊 波 トヨ子  
（沖縄県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）



## 安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

### 個人の部

○<sup>しば</sup>芝<sup>き</sup>木<sup>かつ</sup>捷<sup>こ</sup>子

札幌防火管理者協会 副会長

現住所 北海道札幌市

平成16年に、札幌豊平区防火管理者協議会の会長に就任し、その卓越した指導力と行動力により、各会員に対する精力的な活動を行っている。また、他の防火団体と合同で、視察研修や実務研修等の事業を実施してきたほか、消防機関と協力しての各種火災予防啓発運動への参画や防火研修会の開催等、関係団体・期間との連携にも手腕を発揮し、それによる地域社会への防火・防災に関する知識・技術の向上に対して大きく貢献している。さらに、平成28年5月に、札幌市内の各区協議会の統合再編に伴い発足した札幌防火管理者協会では、副会長として、札幌市全体を視野に入れた会の運営に責任感と行動力を持って活躍している。

○<sup>かわ</sup>川<sup>むら</sup>村<sup>ひさ</sup>久<sup>じ</sup>史

一般財団法人岩手県防災保安協会 理事長

現住所 岩手県盛岡市

平成15年5月、財団法人岩手県防災保安協会（平成25年4月一般財団法人岩手県防災保安協会へ移行）の理事に就任後、平成17年5月からは理事長に就任、以来、豊富な識見と卓越した指導力により、県内の防火対象物の防火安全の確保に努めるとともに、協会の事業発展に尽力している。

平成23年3月の東日本大震災及び平成28年8月の台風10号災害においては、県、各市町村及び防災機器メーカーと連絡を密にし、消防用設備等の無償提供及び設置を通じ被災者支援に尽力するとともに、「水道施設の災害に伴う応援協定」に基づく給水活動を実施している。



ろっ かく あつし  
○六 角 篤

郡山地方消防防災協会 理事

現住所 福島県郡山市

消防用設備等の設置に係る工事又は点検等に係る事業所、消防機械器具等の製造及び販売に係る事業所等の所有者、管理者が加入し組織している郡山地方消防設備士協会理事に平成13年5月に就任、その後、郡山地方消防設備士協会、郡山地方危険物安全協会及び郡山地方防火管理連絡協議会の3つの協会が平成14年5月に統一され、郡山地方消防防災協会消防設備部会の幹事に就任し、さらには平成23年7月から郡山地方消防防災協会消防設備部会副会長及び郡山地方消防防災協会理事に就任している。

理事に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により、会の育成発展に尽くしている。

さらに、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発活動に尽力し、郡山地方消防防災協会会長の補佐役及び郡山地方消防防災協会消防設備副部会長も兼ねて活動しており、会員はもとより地域住民からも信頼が厚く、地域の安心・安全の普及、啓発に多大な貢献をしている。

さか もと ひろ のり  
○坂 本 裕 則

小山市防火管理協会 副会長

現住所 栃木県小山市

平成11年、小山市防火管理協会の副会長に就任し、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力している。

小山市防火管理協会においては、県内外の消防関係者を講師として招いた防火・防災講演会、防火ポスター展の開催をするなど、協会会員の資質向上や防火意識の高揚を図ることはもとより、小山市女性防火クラブ連合会消火実技競技会や小山市幼年消防クラブ連合会フェスティバルの開催に協力するなど、幅広く小山市消防本部管内（小山市・野木町）の防火・防災の指導者として活躍している。地域住民の信頼も厚く、地域の安全・安心の普及啓発に多大な貢献をしている。

○小<sup>お</sup> 俣<sup>また</sup> 浪<sup>なみ</sup> 子<sup>こ</sup>

群馬県女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 群馬県安中市

平成元年、安中婦人防火クラブ岩野谷支部副支部長に就任し、平成4年には同支部長に就任。同年、本部役職である副本部長に就任し、平成9年より本部長に就任する。平成18年の市町合併に伴う旧松井田町婦人防火クラブとの合併には、各調整事項に采配をふるい、円滑な合併に大きく貢献し、新たに安中市女性防火クラブと改名し、総クラブ員数356名の指導者として活躍している。

さらに、平成27年に群馬県婦人（女性）防火クラブ連絡協議会理事及び会長の就任以降も、防火思想の普及啓発を図るため、各種研修会を開催し、災害訓練に積極的に参加するなど、地域防災力の牽引者としての功績は顕著であり、他の模範である。

○廣<sup>ひろ</sup> 瀬<sup>せ</sup> 三<sup>さぶ</sup> 郎<sup>ろう</sup>

深谷地区防火安全協会 会長

現住所 埼玉県大里郡

平成13年6月寄居地区危険物安全協会副会長に、平成17年、会長に就任し、平成18年に深谷地区危険物安全協会との合併後は、副会長として組織拡充などに尽力し、平成27年4月、会長に就任以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

事業者の防火・防災管理と保安体制の充実強化に総力を挙げて取り組むとともに、火災予防思想の普及・啓発をあらゆる機会をとらえて推進し、消防機関や地域住民の信頼も厚く、安心・安全のまちづくりに果たす功績は顕著である。

平成28年には公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会理事に就任し、広く社会公共の安全に多大な貢献をしている。

なか じま かず ひろ  
○中 島 和 洋

市原市防火安全協会 会長

現住所 千葉県市原市

平成6年に市原市危険物安全協会の理事に就任、平成9年に同協会の副会長に就任し、平成23年までの13年間務め、平成23年に市原市防火推進協会との合併に伴い、市原市防火安全協会の発足と同時に副会長に就任、平成25年に会長に就任し現在に至る。この間、防火技術の向上と危険物の取扱管理の向上を図るとともに自主防災体制及び自主保安体制を確立し、防火対象物及び危険物に関わる火災を予防した。

また、危険物の安全管理意識の向上と防火思想の普及に努めるとともに市原市総合防災訓練、火災予防運動、危険物安全週間等の各行事に率先して参加しており、社会公共の福祉の増進に寄与し、当協会の発展に多大な貢献をしている。

こ いずみ さだ お  
○小 泉 定 雄

小岩防火管理者研究会 会長

現住所 東京都江戸川区

昭和47年5月に小岩防火管理者研究会に入会、昭和63年5月に副会長就任、平成15年8月には会長に就任し、現在に至るまで豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

特に、春・秋の全国火災予防運動の一環として実施される防火のつどいや自衛消防訓練審査会等、各種事業の推進を図るとともに、自ら先頭に立って積極的に呼びかけるなど地域事業者や地域住民の防火防災意識の高揚に大いに貢献している。

さらに、小岩消防懇話会副会長、小岩災害防止会常任理事及び江戸川区食品衛生協会会長などを兼務、歴任され、広く地域の安心・安全の普及に多大な貢献をしている。

○<sup>お</sup>尾<sup>せ</sup> <sup>とし</sup>世<sup>ひこ</sup> 敏彦

上野災害予防協会 会長

現住所 東京都台東区

昭和44年11月に上野災害予防協会に入会、昭和50年6月に協会理事、平成17年5月に副会長、平成18年10月には会長に就任し、現在に至るまで48年以上の長きにわたり豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

その間、火災予防運動などの各種行事開催時には積極的に参画し、防火防災思想の普及啓発に尽力するなど地域防災への熱意も強く、地域の安心・安全を実現すべく幅広い活動を続けている。

さらに、氏の人柄は、温情かつ献身的な人柄であることから、会員だけでなく地域住民からも信頼は絶大で、鶯谷ホテル旅館組合長、東京鶯谷ライオンズクラブ第45代会長等、数々の要職を歴任している。

○<sup>あし</sup>芦<sup>かわ</sup> <sup>かず</sup>川<sup>お</sup> 一男

足立防火防災協会 会長

現住所 東京都足立区

昭和60年4月足立防火防災協会の会計に就任、平成10年4月には副会長に、平成16年4月から会長に就任し現在に至る。その間、豊富な見識と熱意により、地域の防火防災力の向上と協会の育成発展に絶大な貢献をしている。

特に、消防団運営委員や避難所運営会議本部長などを含め地域の防火防災に関する中核的な人物であるとともに、その他、青少年の育成、地域の教育行政、警察行政への協力など、地域に数々の貢献をしている。

さらに、火災予防運動や年末年始消防特別警戒に伴う巡回広報など、各種事業の推進を図るとともに、卓越した指導力により地域の安心・安全のため幅広い活動を続けている。

○鈴木良子

新潟県女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 新潟県新潟市

昭和55年から新潟市島見町南浜地区防火連合会部会長に就任し、地域の防火意識の高揚に努めている。平成23年7月からは新潟市防火連合協議会婦人防火部会長に就任し、各種事業の推進を図るとともに、市民の防災意識の高揚に努めている。また、家庭や地域における火災予防や防災への知識を普及させるため、地域住民との交流会を計画するなど、普及活動に尽力している。

平成27年には、新潟県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、地域密着の考えを基本として「自分たちの地域から火事は絶対に出さない」を合い言葉に、住宅用火災警報器の維持管理を呼びかける活動に取り組むなど、火災予防に多大な貢献をしている。

○佐藤忠義

海津市危険物安全協会 会長

現住所 岐阜県海津市

平成18年海津市危険物安全協会会長に就任し、会の発展に努め、人材育成に尽力している。また、消防関係以外の要職を歴任し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全なまちづくりにも力を入れている。

さらに、平成18年から4年間、西濃地区危険物安全協会連絡協議会副会長並びに社団法人岐阜県危険物安全協会理事を歴任し、危険物災害予防のため各種事業を積極的に推進し市民の安全確保に多大な貢献をしている。

○北<sup>きた</sup>村<sup>むら</sup>美代子<sup>みよこ</sup>

関ヶ原町女性防火クラブ  
現住所 岐阜県不破郡

平成19年4月関ヶ原町女性防火クラブ会長に就任し、併せて岐阜県女性防火クラブ運営協議会の理事にも就任する。以来、豊富な識見と卓越した指導力によりクラブの育成発展に尽くしている。町防災訓練、初期消火訓練、防火広報等の各種行事に取り組み、これらの活動を自ら先頭に立って指導するなど、町民、クラブ員の家庭防火思想の高揚に努めている。

さらに、関ヶ原町社会福祉協議会委員や関ヶ原診療所運営審議会委員、岐阜県共同募金会関ヶ原分会の理事など各種団体の要職に就き、地元住民の信頼も厚く、地域の安心・安全なまちづくりの普及・啓発に多大な貢献をしている。

○内<sup>うち</sup>田<sup>だ</sup>進<sup>すすむ</sup>

熱海市防火協会 顧問  
現住所 静岡県熱海市

平成20年4月に熱海市防火協会会長に就任し、平成12年4月熱海市防火協会設立当時より、宿泊施設防火管理対策委員長として活躍し、平成16年からは、副会長を経て、会長に就任。会長任期中は8年に渡り防火管理指導、法令改正などの研修会等では、会員が自ら学ぶ体制づくり、また宿泊施設を対象とした夜間マニュアル訓練大会は設立当初から継続して開催しており「自らの施設は自らが守る」というスローガンのもと市内の防火管理体制の強化に繋げた。

また、幼年消防クラブ員の育成にも尽力され、1保育園のみであった幼年消防クラブを3保育園総勢55名にまでした。現在は熱海商工会議所の会頭でもあり、市内その他の団体と連携し、熱海市内の事業所における防火・防災思想の啓発、普及に多大な貢献をしている。

はら ゆう こ  
○原 裕 子

つつじが丘北9番町女性防火クラブ 委員長  
現住所 三重県名張市

「つつじが丘北9番町女性防火クラブ」は、住民の防火意識の向上が重要であるとの考えのもと昭和57年11月27日に発足した。以来、地元有志の女性たちと共に家庭防火の知識や火災時の適切な初期消火、通報、避難方法を習熟することで防火意識を高め、地域の防火、防災体制の強化を図ることを目的に活動している。

氏は、発足時から現在に至るまで委員長としてクラブの発展に尽力するとともに、名張市女性防火クラブ連絡協議会会長も複数回務め、卓越した指導力をもって市全体の防火、防災思想の高揚に寄与してきたこと、また、「奥さま防災博士」や地域の子育て支援ボランティアにおける地域での活躍などの功績は誠に顕著であり、安心・安全なまちづくりと防火、防災意識の向上に多大な貢献をしている。

み うら まさ ひこ  
○三 浦 正 彦

柏羽藤火災予防協会 会長  
現住所 大阪府柏原市

昭和49年2月に柏羽藤火災予防協会に入会、平成9年3月には、柏羽藤火災予防協会副会長に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力により同会の育成発展に尽くした。

平成28年6月に会長就任後は、同会の消防協力体制の強化をはじめ、防火思想の普及啓発に協力を惜しまず、柏原市、羽曳野市、藤井寺市の消防並びに防災の指導者として精力的に活動を展開しており、地域住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全の推進に多大な貢献をしている。

○<sup>し</sup>田<sup>かた</sup>方<sup>くに</sup>邦<sup>お</sup>夫

東淀川防火協力会 会長  
現住所 大阪府箕面市

平成2年東淀川防火協力会会計監事、平成14年には同会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の充実と育成に尽力するとともに、各種消防関係団体と連携・協力して企業、事業所関係の自主防災管理に関する施策を効果的に進めることによって防火・防災意識の高揚に努め、なお豊富な経験と知識を活かして会の育成発展に尽力している。

また、平成26年に大阪市連合防火協力会会計理事、平成28年には同会副会長に就任し、東淀川区はもとより大阪市全体の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信望も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>きた</sup>北<sup>がわ</sup>川<sup>ただ</sup>忠<sup>つぐ</sup>嗣

東大阪市東防火協力会 会長  
現住所 大阪府東大阪市

平成4年4月から東大阪市東防火協力会理事に就任以降、会計理事、常任理事を歴任し、平成13年5月に副会長、平成29年6月に同会の会長に推挙され、消防署が実施する各種行事にも積極的に参加し、自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民に火災予防の重要性について呼びかけるなど防火思想の普及啓発に尽力され、積極的に同会の発展に寄与している。

また、平成17年5月から東防火協力会危険物部会の会長に、平成29年5月から東大阪府山林防火協力会の会長に就任し、地域における防災指導者として火災予防、危険物防災意識の高揚に努め、地域の防火防災体制の確保に多大な貢献をしている。



な や みち ひろ  
○納 谷 通 弘

中防災協会 会長

現住所 大阪府堺市

平成2年、鳳防火管理者研究会理事に就任し、平成14年に中防火管理者研究会の会長、平成18年に中防災協会副会長、平成26年に同協会会長を歴任、長年に渡り、地域社会における防火防災活動等を推進され、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

また、防災協会だけではなく、平成18年5月より堺市高石市防災協会連合会の理事、会計理事、副会長及び会長を歴任し、同協会事業に尽力、広いエリアでの防災推進を図っている。

加えて、将来の地域防災力向上のため幼年消防クラブの育成にも力を入れ、防災思想の普及に尽力しており、安全で安心して暮らせる街づくりを目指し、地域防災の向上に多大な貢献をしている。

ふく もり やす とも  
○福 盛 康 友

豊中防火安全協会 会長

現住所 大阪府豊中市

平成14年6月に豊中防火安全協会理事、平成18年6月に副会長、さらに、平成28年6月に会長に就任し、その職務に強い信念を持ち、会の事業推進に大きく寄与され、更なる発展に惜しみなく尽力している。

さらには、豊中防犯協議会の副会長、豊中交通安全協会の会長に就任されるなど、豊中市の消防・防犯・交通安全の指導者として地域住民の信頼も厚く、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展を通して、地域の安心・安全のため防火・防災思想の普及・啓発に多大な貢献をしている。

やま もと こう じ  
○山 本 浩 二

摂津市防火安全協会 会長

現住所 大阪府吹田市

平成11年5月に摂津市防火安全協会理事に就任し、役員として長年にわたり積極的に火災予防活動を展開しており、当協会会員に対する防火防災活動のみならず、春・秋の火災予防運動における地域啓発活動や防火フェア等を通じて、地域住民に対する防火啓発活動にも積極的に取り組み、その実務リーダーとしての職責を果たしている。

特に平成13年5月の摂津市防火安全協会会長就任以後は、協会の事業執行の牽引役として、その手腕を発揮し、現在、協会の加盟会員数は、約280事業所を数え、これら事業所等が一丸となって「安全・安心のまちづくり」に寄与しており、本市の火災減少に多大な貢献をしている。

はん や とし あき  
○般 谷 稔 秋

守口門真防火協会 理事

現住所 大阪府守口市

昭和60年4月、守口市及び門真市内の事業所で構成する守口門真防火協会の理事に就任し、今日に至るまで協会運営に積極的に携わり、協会の発展と究極の目標である管内無火災を達成するため、「火災予防思想の普及啓発」、「危険物災害の防止」及び「自衛消防隊の育成指導」に関しての事業を積極的に推進し、防火・防災活動への貢献は誠に顕著である。

また、地域においては、青少年育成指導協議会、社会福祉協議会及び石油商業連盟など各種団体の役員を歴任し、地域社会の発展と安心・安全の向上に多大なる貢献をしている。

もり                      たづこ  
○森                      田鶴子

尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会 会長  
現住所 兵庫県尼崎市

平成6年、尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会副会長に、また、平成18年には会長に就任して以来、多年にわたり家庭防火の推進と地域防火のリーダー的役割を担うとともに、消防機関が行う各種行事に率先協力するなど、豊富な経験と識見及び卓越した指導力により会の育成発展に寄与している。

さらに、平成17年に兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会委員、また、平成19年に尼崎市防災会議委員にも就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通じて、防火防災思想の普及・啓発に尽力し、各種団体や地域住民からの信頼も厚く、安心・安全を実感できるまちづくりに多大な貢献をしている。

うえ                      の                      いずみ  
○上                      野                      泉

尾道防火協会 会長  
現住所 広島県尾道市

平成14年、尾道地区防火協会会長に就任以来、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽力している。平成18年には因島・瀬戸田地区危険物安全協会との合併に至り、名称を尾道防火協会に改称、引き続き会長として現在まで事業推進の中心となり活躍している。

協会は、消防車写生大会、消防競技大会等定期的に実施し、氏は、自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民に対し火災予防の普及啓発を図っている。

また、平成22年には創立50周年を迎え、協会のキャッチフレーズを公募し「広げよう地域ぐるみの 防火の輪」をスローガンに、地域社会への防火思想の普及啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>さ</sup>榎<sup>き</sup> <sup>ば</sup>原<sup>ら</sup> <sup>む</sup>睦<sup>つ</sup> <sup>や</sup>也

福山市深安防火協会 副会長

現住所 広島県福山市

平成14年4月1日、福山市山野加茂防火協会山野支部の支部長に就任し、地域住民に防火・防火思想の重要性を認識させ、平成19年4月1日、名称変更した現在の福山市深安防火協会の発展に尽力している。

さらに、責任感が強く、地域住民の負託と信頼に応え、市民が安心して生活ができるまちづくりを推進するため、防火座談会、消火訓練、防災研修等を開催して、防火・防災意識の高揚を図るとともに、消火器や住宅用火災警報器の設置促進を呼び掛けるなど、消防行政に多大な貢献をしている。

また、平成19年4月1日からは、福山市防火協会連合会理事としての要職に就き、同連合会の運営や事業を積極的に推進し、地域の安心・安全なまちづくりと防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。

○<sup>ま</sup>松<sup>つ</sup> <sup>む</sup>村<sup>ら</sup> <sup>み</sup>幹<sup>き</sup> <sup>お</sup>旺

西福寺保育園幼年消防クラブ 会長

現住所 山口県宇部市

平成5年10月1日西福寺保育園幼年消防クラブ結成以来、会長として23年以上の長きにわたり、幼年消防クラブの目的達成の為、各種行事の立案から開催まで強いリーダーシップと指導力により山陽小野田市の幼年消防クラブを牽引してきた。幼年消防クラブの趣旨をよく理解し、優れた指導力によりクラブ員への指導及び指導者の育成に尽力している。

また、寛容な性格は、保護者、地域住民からの信望も極めて厚く、何事にも自主性を尊重しながら行動的に事にあたり、各種行事等を成功させ、積み重ねた豊富な知識と経験から、積極的に幼年消防クラブの活動にあたり、保育園の職員から深く敬愛されている。

ひ ぐち とし お  
○樋 口 利 夫

浮羽地区防災協会 会長

現住所 福岡県うきは市

平成18年4月、浮羽地区防災協会理事に就任後、平成20年4月には会長に就任し現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

各種防火・防災事業を行う際は、率先して参加者を募り、事業所の自衛消防隊はもとより、幼児から高齢者に至るまで、様々な世代の地域住民に対して防火・防災思想の普及・啓発を行うなど、当協会のスローガンである「災害のない明るいまちづくり」実現のために尽力している。また、うきは市や消防署との連携強化を図り、災害の予防のみならず、災害発生時の被害の軽減にも力を入れ、地域全体の災害対応能力の向上にも多大な貢献をしている。

ひら かわ じつ お  
○平 川 實 夫

柳川市防災協会 会長

現住所 福岡県柳川市

平成11年、柳川市防災協会理事に就任し、副会長を経て平成23年6月、会長に就任して現在に至る。その卓越したリーダーシップと見識の広さにより協会の融和・発展に寄与している。消防行政への理解は深く、様々な各行事を通して自ら先頭に立って地域住民への防火思想普及啓発を行うとともに、地域の指導者として安全で安心できる街づくりに貢献、地域の一人暮らしの高齢者宅への住宅用火災警報器寄贈設置、昨年は、柳川市へ「消防行政へ役立てほしい」と100万円を寄付するなど、その功績は顕著である。

あつさか よし のり  
○阿津坂 芳 徳

大川市防災協会 会長  
現住所 福岡県大川市

平成4年5月に大川市防災協会の理事に就任。さらに、平成8年5月から同会副会長に推挙され、永年にわたり会長を補佐し同会の運営等について積極的に活動を行い同会の発展に貢献した。

また、会員からの信頼も厚く、豊富な見識と卓越した指導力が評価され、平成27年9月には同会会長に就任した。これと同時に同会の組織強化を図るとともに地域社会の安全確保推進のため、精力的に防火思想の普及啓発及び危険物施設の安全管理体制の充実強化を図り、さらに地域住民への防火意識の普及拡大をはじめ各種災害における事故防止にも尽力している。

なか にし たつ や  
○中 西 達 也

粕屋南部地域防災協会 副会長  
現住所 福岡県糟屋郡

平成15年4月、粕屋南部地域防災協会の理事に就任後、平成19年4月から同協会副会長に就任し、以来豊富な職見と卓越した指導力により各事業所の防災体制の強化促進及び地域の災害防止を目指し協会による活動を多岐にわたり積極的に取り入れ協会の育成発展に努めている。

さらに、危険物保有事業所として防火管理体制も整備され従業員一丸となり積極的に訓練等を実施し、防火意識の高揚に努めている。

また、消防署が実施する危険物安全週間や春季・秋季火災予防運動などの事業開催時には、自ら率先して協力し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

たて いし まさ ひろ  
○立 石 昌 博

三井・小郡地区防災協会 顧問

現住所 福岡県久留米市

平成4年、三井・小郡地区防災協会の理事に就任後、平成14年から副会長、平成16年から10年に亘り会長を歴任、さらに平成26年から顧問に就任し現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

また、「災害のない、明るい住みよいまちづくり」をスローガンに各種事業を積極的に推進し、特に防火防災に関する各種事業を開催する際には、自ら先頭に立って地域住民に参加を呼びかけ地域住民の防火防災意識の高揚を図るなど、地域防災力の向上に尽力し、地域の安心・安全の普及に多大な貢献をしている。

あや べ てつ とも  
○綾 部 哲 具

筑紫地区防災協会 相談役

現住所 福岡県筑紫野市

平成9年7月、筑紫農業協同組合の代表理事組合長に、平成10年5月には筑紫地区防災協会第六代会長に就任され、筑紫地区4市1町における繋がりを最大限に活かし、広く住民の防火・防災に対する意識の高揚を図るとともに、会の運営・発展に尽力され、協会の各種事業においても率先して努めている。

さらに、平成22年4月までの12年間会長を務められ、その後も、相談役として、防火・防災思想の重要性を常に認識され、地域防災体制の強化推進を図りつつ、災害の発生防止や、安全で明るい地域社会の構築等の社会福祉の増進に努められた19年間の功績は誠に多大である。

## 団体の部

こうえきしゃだんほうじんせんだいしぼうさいあんぜんきょうかい  
○公益社団法人仙台市防災安全協会

(理事長 藤崎 三郎助)

所在地 宮城県仙台市

公益社団法人仙台市防災安全協会は、昭和63年3月に設立以来今日まで、市民の防火防災思想の普及高揚を始め、防災業務関係者の育成・支援等を行うことにより、地域社会の安全と福祉増進に寄与している。

また、火災予防に関する情報、地震・津波による被災状況等防災パネルの掲示、地震体験車「ぐらら」等を通じた「防災減災啓発事業」、災害発生時に援護が必要なひとり暮らしの高齢者及び重度の障害を持った人への訪問指導による「災害弱者訪問防火指導事業」、市民への正しい応急手当の普及啓発の「応急手当講習事業」を通じた市民への防火防災意識の向上及び事業所等への自主防災体制の確立を通じ、市民の生命の安心・安全に多大な貢献をしている。

いしづかほいくえんようねんしょうぼうくらぶ  
○石塚保育園幼年消防クラブ

(園長 石塚 達義)

所在地 神奈川県小田原市

昭和62年3月1日に幼年消防クラブを結成以来、火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に積極的に活動している。また、幼年消防クラブ30園の運営指導について研究、助言し、クラブの健全な育成発展に寄与する目的として平成7年4月1日設立された「小田原市幼年防火委員会」に設立当初から加盟し、平成14年度から平成25年度まで副会長を務め、幼年消防クラブの育成発展に努めている。

幼年消防クラブとして、任命式、消防車お絵描き会、花火教室、消防車お絵描き展示会など、広報活動等に積極的に参加し、多くの市民に火災予防を呼びかけ防火思想の高揚と、火災の減少に多大な貢献をしている。



ぐじょうしじょせいぼうかくらぶ  
○郡上市女性防火クラブ

(会長 中山 紀子)

所在地 岐阜県郡上市

昭和58年4月に郡上郡女性防火クラブ連絡協議会として結成、平成16年に郡上市女性防火クラブに改称し現在に至る。結成以来、火災予防を中心に防火防災の重要性を認識し、火災予防広報を継続して実施するとともに、消防機関などの実施する活動へも積極的に参加、協力している。

平成20年度から平成23年度にかけては、住宅用火災警報器共同購入事業を展開し、設置の推進に貢献した。また近年は、市社会福祉協議会等と連携し、クラブ員の枠を超え、地域住民を対象として防火防災に関する講習会を開催するなど、地域防災の担い手となる人材育成に多大な貢献をしている。

あたみしぼうかきょうかい  
○熱海市防火協会

(会長 前田 久憲)

所在地 静岡県熱海市

平成12年4月、3団体の合併により設立し、市内にある基幹産業であるホテル・旅館の宿泊施設等の事業所約300施設が加入している。

主な事業として、予防広報の推進や防火管理体制の強化、幼年消防クラブ員の育成及び市内小中学校への防火思想の普及活動に加え、会員を対象とした救命講習の実施、他団体と連携し消防訓練を定期的実施するなど幅広く活動し、熱海市の基幹産業であるホテル、旅館の会員を筆頭に熱海市全体の安心・安全の街づくりに多大な貢献をしている。

とよみふじんぼうかくらぶ  
○豊富婦人防火クラブ

(隊長 岩田 稔恵)

所在地 兵庫県姫路市

昭和59年12月に結成以来、「防火の一步は家庭から」を合言葉に、防火研修会や消火訓練を実施し、婦人層の防火知識の高揚と消火技術の向上を推進し、家庭からの火災発生防止と地域の火災の減少に大いに貢献している。

また、住宅用火災警報器の必要性を広く訴え、住宅用火災警報器の設置率の向上にも大きく寄与している。

さらに、防災意識の高揚を主眼とし、炊き出し訓練を実施するほか、地域の消防団や自主防災会とも連携して防災訓練に積極的に参加する等、地域コミュニティとの連携強化による地域防災力の向上を図り、安心・安全で魅力的な地域社会の構築に多大な貢献をしている。

ちよ おかぼうさいふくしこみゅにてい  
○千代が丘防災福祉コミュニティ

(代表 川村 喜由)

所在地 兵庫県神戸市

平成13年、千代が丘防災福祉コミュニティ結成以来、震災時の経験を踏まえ、マンホールトイレの作製や、夜間訓練などを実施し、近年では「災害弱者支援」を目標に掲げ、各種障がい者への接し方など知識を深めるべく講習会等を開き、地域在住の障がい者の方々にもイベントへの参加を呼び掛けるなど、顔の見える関係の構築を進めている。

また、地域独自で災害弱者を対象に支援を希望する方を把握し避難訓練を実施する等、地域の防災力の向上に努めるとともに、地域の小・中学校との連携訓練を深め幼少時からの防災への意識向上に取り組むなど、地域防災の要として防災活動に積極的に取り組んでいる。

かすやほくぶちくぼうさいきょうかい  
○粕屋北部地区防災協会

(会長 渋田 輝國)

所在地 福岡県古賀市

昭和62年9月1日に141の事業所により発足し、自主防災体制の強化及び防火思想の普及を推進するとともに、事業所相互の融和と協調、安全と社会公共の福祉の増進を目的として活動している。事業は、自衛消防隊員としての自覚と自社愛の精神の涵養を目的とした新入社員講習会、各種研修会の実施、事業所の防災体制の確立を目的とした訓練競技会、地域住民の防火意識の高揚を目的とする各種イベント等を通して防火思想の普及と高揚を目的とした広報活動などを実施し、「広げよう地域の輪と防災の〇(わ)」をスローガンに会員事業所に限らず、地域住民へと呼びかけている。

当協会も30歳を迎えるが、地域への貢献はその軌跡を振り返るにおいて誠に多大である。

けいくびまちふじんぼうかくらぶ  
○毛井首町婦人防火クラブ

(代表 福田 高子)

所在地 長崎県長崎市

昭和40年11月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、日頃から火災・災害を想定し、自治会及び消防団等の関係団体と一致協力して訓練等を実施し、地域住民の防火思想の普及向上を図っている。

また、防火チラシやパンフレット等を各世帯へ回覧、配布し地域住民へ火の用心、火災予防の呼びかけを行い、地域の防火意識の高揚を図るなど、住宅防火対策を積極的に推進している。

さらに、高齢者を含む地域住民の安全確保のために応急処置等の訓練を定期的にも実施するなど、多大な貢献をしている。

## 消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性（婦人）防火クラブ員

### 消防団員

にし だ てつ ぞう  
○西 田 哲 三

羽生市消防団 団長

現住所 埼玉県羽生市

昭和50年に入団以来、42年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成18年団長に就任して以来、豊富な知識、経験から地域住民に対する防災意識の向上、団員の教育資質向上に尽力しており、平成28年に開催された第29回埼玉県消防操法大会では、自らが訓練指導にあたり、ポンプ車の部において準優勝するなど、消防団組織に多大な貢献、功績を残している。

また、埼玉県消防協会評議員、理事を歴任し、平成25年4月からは、埼玉県消防協会副会長、平成27年6月に日本消防協会評議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

う だがわ ひろし  
○宇田川 弘

南部町消防団 団長

現住所 鳥取県西伯郡

昭和47年に入団以来、45年余りの長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長就任以来、消防団員の教育と訓練により、その資質の向上を図ることが基本であるとの信念のもと、研修会・訓練等には自ら積極的に参加し、団員に対してその必要性を説き、受講させるなど積極的に取り組み、団員の資質向上に努めた。

また、日中在宅している地域住民に対して消火栓による消火訓練を自ら出向いて各集落で行い、火災予防意識の高揚に成果をあげ、消防団に対する住民の信頼をより高めたことの功績は顕著である。

○<sup>みぞ</sup>溝<sup>て</sup>手<sup>てる</sup>照<sup>あき</sup>明

早島町消防団 団長

現住所 岡山県都窪郡

昭和45年に入団以来、47年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成17年に団長に就任して以来、その優れたリーダーシップと決断力で、部下団員の信望を集めるとともに、災害発生に際しては、陣頭に立って的確な判断で被害の最小化に寄与している。

自治会、自主防災組織との連携、消防団員の育成、消防機器の充実強化及び組織の再編など時代に即した消防組織強化に献身的に尽力し、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

また、平成22年から岡山県消防協会の監事や理事を歴任するなど、その功績は誠に顕著である。

○<sup>えつ</sup>悦<sup>だ</sup>田<sup>あきら</sup>明

美波町消防団 団長

現住所 徳島県海部郡

昭和42年に入団以来、50年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成29年3月3日午前2時すぎ、美波町木岐の倉庫から出火した建物火災は、乾燥した天気の影響もあり、たちまち屋根まで火の手があがった。

当時強風注意報が発令されており、氏は、消火の最前線で密接した隣家及び裏の山林への延焼を防ぐ措置をとり、団員に負傷者を出さないよう気を配りつつ、水利の少ない中、徹夜で団の指揮をとり鎮火せしめた。

また、平成21年からは、徳島県消防協会理事、平成25年からは、徳島県消防協会評議委員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

いわ さき まさ かず  
○岩 崎 正 一

大川村消防団 団長

現住所 高知県土佐郡

昭和45年に入団以来、47年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成17年の団長就任以来、その豊富な知識と経験をもって消防の育成強化に努めるとともに、積極的に火災予防の普及啓発を図り、火災を起こさない明るく住みよい地域づくりに全力を投じてきた。住宅火災の防止に努めるため、家庭における防火安全の担い手である主婦を中心に、村の防災訓練時において消火器等による消火訓練を積極的に推進し、また、火災報知器の設置率向上を目指して村内全域を巡回し、火災報知器設置の指導や取付けを行ってきた。

その甲斐あって、住民の火災予防に対する意識は年々向上し、平成20年からの約9年近く無火災を記録し、火災予防の普及推進を図り尽力してきた、その功績は誠に顕著である。

なか もと のり お  
○中 元 則 夫

香南市吉川消防団 団長

現住所 高知県香南市

昭和47年に入団以来、41年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成11年団長に就任以来、豊富な知識、経験から地域住民に対する防災意識の向上、団員の教育資質の向上、吉川こども防災クラブの結成に尽力するとともに、最新鋭のポンプ自動車の整備、新屯所の移転建設と消防施設の整備に力を注いでいる。

また、平成19年から高知県消防協会代議員、平成26年からは副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○<sup>まえ</sup>前 <sup>かわ</sup>川 <sup>ふさ</sup>房 <sup>お</sup>雄

佐世保市消防団 副団長

現住所 長崎県佐世保市

昭和52年に入団以来、40年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

地元中隊の責任者として活動していた平成23年11月には、防火防災に関する地元住民との交流会を企画し、地域住民と消防団員との関係をより強固なものとした。氏が企画したこの交流会をきっかけに、江迎町内の自主防災組織の結成率は、氏が中隊の責任者として在籍中の間、14%上昇した。

また、平成17年から平成22年まで長崎県消防協会理事、平成26年5月から現在に至るまで長崎県消防協会監事として地元消防団はもとより県内消防団の意見調整を図り、その功績は誠に顕著である。

## 女性（婦人）防火クラブ員

○磯<sup>いそ</sup>部<sup>べ</sup>桂<sup>けい</sup>子<sup>こ</sup>

鳥取県女性防火・防災連絡協議会 副会長

現住所 鳥取県鳥取市

平成18年、鳥取県女性防火・防災連絡協議会設立にあたり発起人として尽力し、設立から現在に至るまで副会長として同協議会の発展に多大な貢献をしている。

日頃から、高齢者の独居世帯が多い集落などを広報車で巡回し、安否確認を兼ねた防火広報の活動や、保育園に出向いて啓発用紙芝居を上演するなど、地域住民の防災意識の高揚にも力を尽くしている。

日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、平成29年4月に鳥取市から防災指導員の委嘱を受け、地域防災力の一層の向上に取り組むとともに、同協議会の会員を対象とした研修会や講演会を企画・開催するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○川<sup>かわ</sup>内<sup>うち</sup>嘉<sup>か</sup>津<sup>つ</sup>子<sup>こ</sup>

佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会 会長

現住所 佐賀県伊万里市

平成16年、伊万里市大川内町婦人防火クラブ会長に、平成20年には伊万里市女性防火クラブ連絡協議会会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

また毎年、女性防火クラブ員の指導者を対象とした研修会の開催に積極的に取り組み、家庭防火の知識や火災時の適切な対応などを習熟させ、クラブ員指導者の育成に寄与している。

さらに平成28年、佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会会長に就任以降も女性防火クラブ及び指導者の育成や研修会等による防火意識の高揚を図り、佐賀県の女性防火クラブの指導者として活躍し、地域の安心・安全の普及・啓発への多大な貢献は誠に顕著であり、他の模範である。



とみ た せつ こ  
○富 田 セツコ

熊本県女性防火防災クラブ連合会 会長

現住所 熊本県上益城郡

平成8年益城町婦人防火クラブ設立当時から今日に至るまで、会長として長きに渡り同クラブの発展に尽力してきた。平成27年11月には、地域の安全確保に多大な貢献を果たした実績から、熊本県女性防火防災クラブ連合会会長に就任し、地域の防災力向上と防火・防災思想の普及啓蒙に注力してきた。

平成28年4月の熊本地震後は、県内クラブはもとより、全国のクラブとの固い結束、協力関係を築き上げた。

また、婦人防火クラブの枠にとらわれず、全国各地の様々な団体と接し、その知見を広め防災思想の普及に大いに貢献をしている。日本防火・防災協会会長賞受賞後も、地域の復興と防災力向上に向けて邁進し続けており、その功績は誠に顕著であり他の模範となる。

い は とよ こ  
○伊 波 トヨ子

沖縄県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 沖縄県浦添市

平成3年の旧浦添市婦人防火クラブ（現在の浦添市女性防火クラブ）結成当初から尽力し、平成16年には同クラブ会長及び沖縄県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、特に住宅用火災警報器に関しては、地域の高齢者住宅を訪問しての普及・啓発に積極的に取り組み、住宅用火災警報器の設置率向上に大きく貢献した。

また、同連絡協議会では、地元のみならず、県内女性防火クラブの防火・防災に対する知識の向上のために精力的に活動を行っており、平成29年1月には日本防火・防災協会会長表彰を受けた。同賞受賞後も研修会等の開催に尽力するなど、地域の防火・防災思想の高揚に努めており、地域防災力の牽引者として他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	32	40
	団体	8	
消防功労者表彰	消防団員	7	11
	女性(婦人) 防火クラブ員	4	